

河川環境の現状

水質（生物化学的酸素要求量(BOD)）

A類型の基準値(日間平均値)は、 2mg/L 以下

B類型の基準値(日間平均値)は、 3mg/L 以下

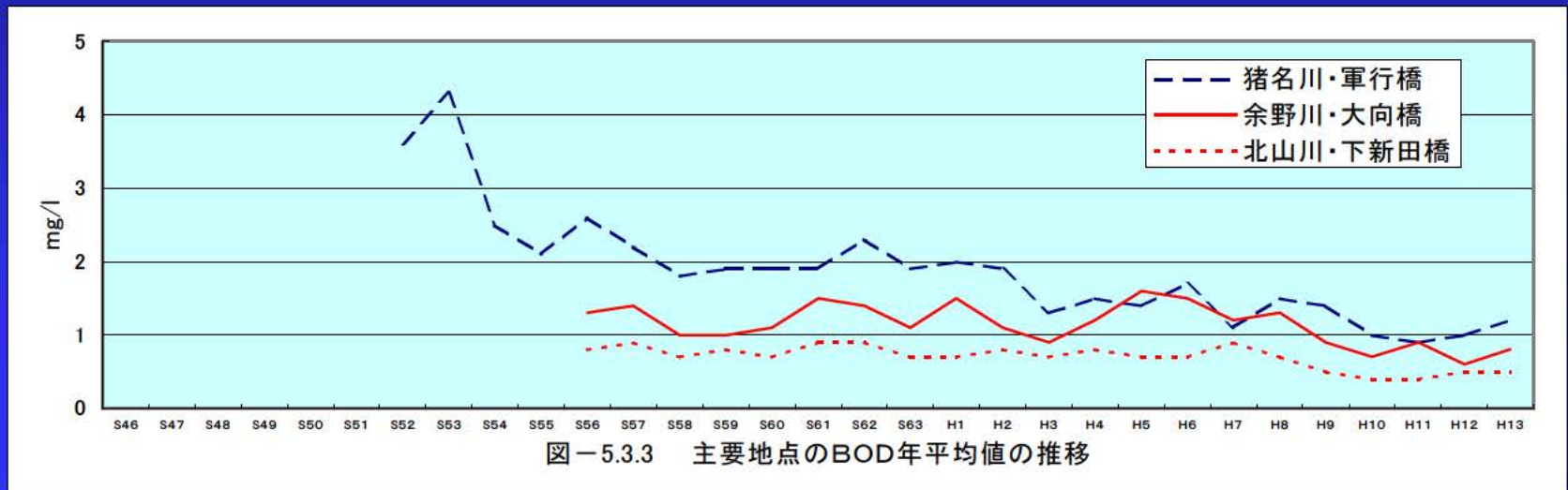


図-5.3.3 主要地点のBOD年平均値の推移

事業地周辺の現状

- 余野川ダム周辺では、大阪府が平成9年3月に建設大臣の認可を受けて土地区画整理事業(水と緑の健康都市)の事業計画を決定し、造成工事に着手してきた。
- 平成11年2月に事業区域内において、オオタカの巣が確認されたため、専門家による「水と緑の健康都市オオタカ調査委員会」を設置し、オオタカの保全方策について検討が行われた。
- 大阪府は、オオタカ保全方策及び地価動向、当地における住宅需給動向などについて点検・精査を行った結果、事業計画を見直すこととなった。
- 現在、大阪府では、事業計画の変更に向けた作業が行われている。なお、現在の造成中の区域については防災工事などを実施中である。

事業地周辺の現状

- 水と緑の健康都市のオオタカの保全方策について(提言の一部抜粋)
オオタカ保全地として、約55haが設定された。

第1区域 (約21ha)

第2A区域 (約21ha)

第2B区域 (約13ha)

- 水と緑の健康都市特定土地区画整理事業の事業計画見直し

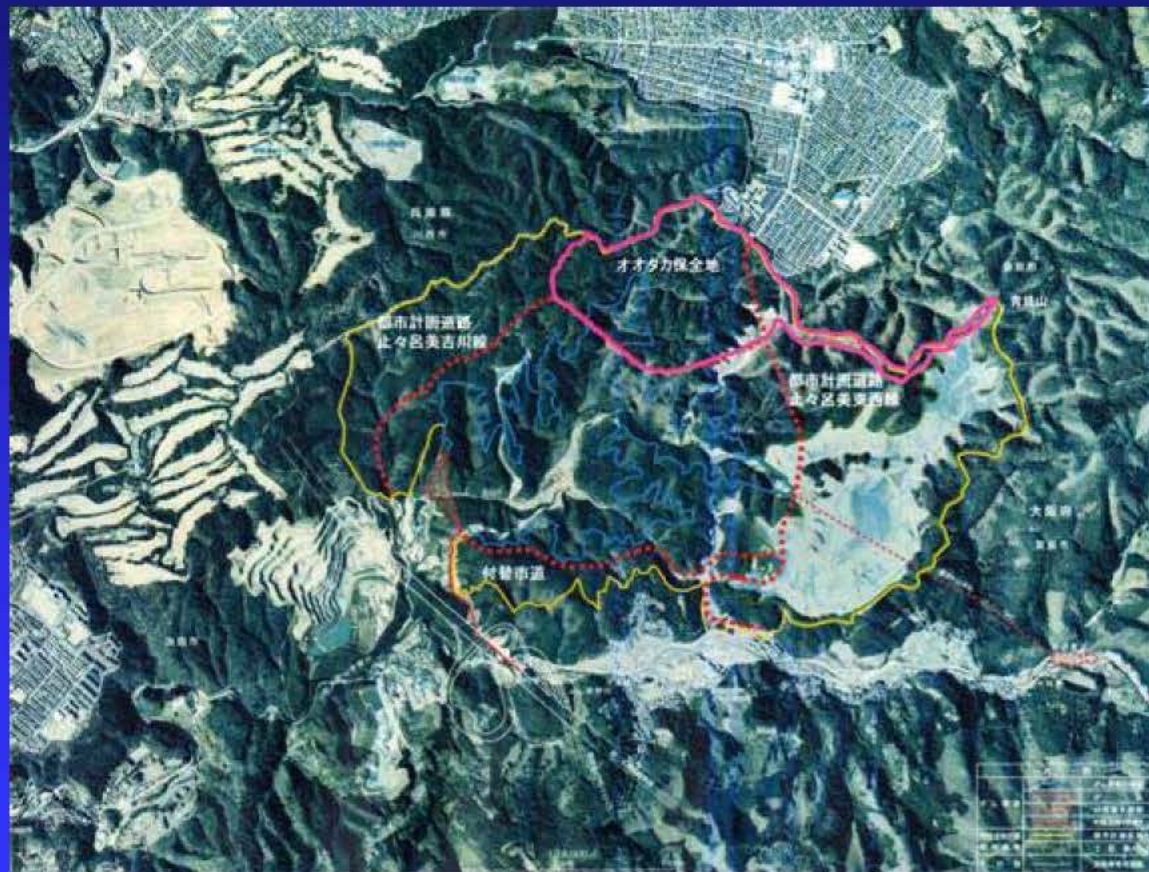
第1区域 (約100ha) 大阪府が最初に造成を完成し、先導的に市街化を図る区域

第2区域 (約100ha) 民間活力導入により計画的整備を行う区域

第3区域 (約120ha) 第2名神自動車道のインパクトを活用するなど、主として施設誘致を図る区域

事業地周辺の現状

余野川ダム事業地周辺(航空写真)



2001年2月撮影

余-20